



IT領域でグローバル創業を目指す学生コース

スタンフォード流イノベーターコース（IT・学生） | Course No. A112

募集要項

応募締め切り：2024年7月9日(火) 12:00（JST）

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要

目的

シリコンバレーで起業家精神について学び、実際に「デザイン思考」スキルを習得しながら自身の事業案をアップデートする

1	起業家精神の本質を理解する。
2	起業家精神の基本的な考え方とスキルを身につける。
3	市場の実際のニーズに合った顧客中心の製品やサービスを開発できる「デザイン思考」スキルを開発する。

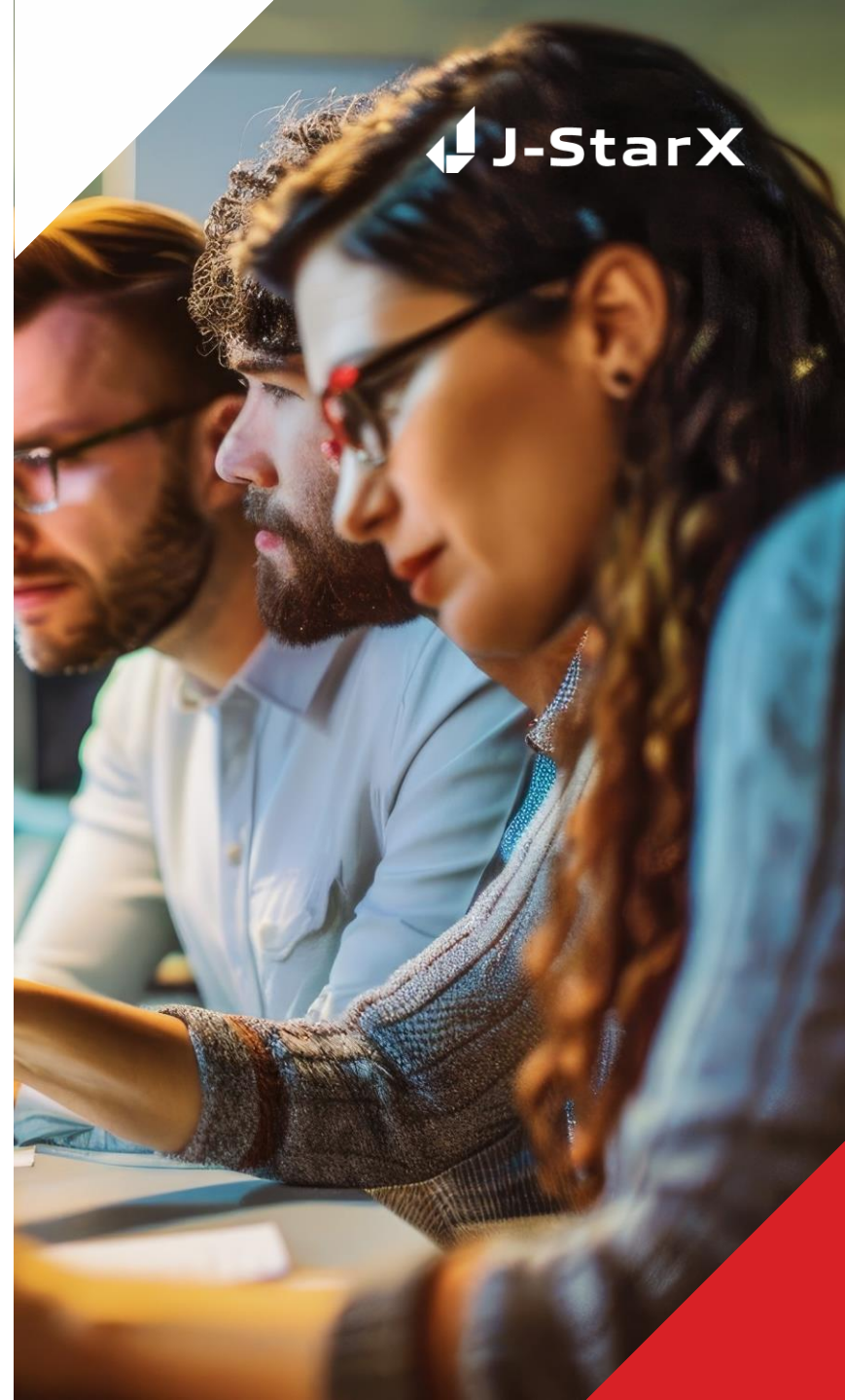
派遣先

アメリカ シリコンバレー

募集対象

対象者	応募時点で原則18歳以上の学生
ステージ	起業前
分野	想定している事業内容がIT分野に関連していること
その他	プロトタイプまたはベータ版を有すること

*渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



1 国内プログラム



事前のオンラインレクチャー (20名程度)

Zoomを使用して合計 6 時間程度の講義とワークショップを提供する。講義ではシリコンバレーの歴史や文化、米国企業のオペレーションの特徴などについて学ぶ

2 渡航プログラム



講義、演習、デザイン思考ワーク ショップ (20名程度)

講義や演習、デザイン思考ワークショップなどを受講する。参加者には自身のピッチをアップデートし、発表する機会がある。渡航プログラム中はスタンフォードのゲストハウスに宿泊予定

3 フォローアップ



メンタリング (20名程度)

プログラム参加後の成果フォローアップ、メンタリングを実施予定

※プログラムの実施内容・形式等は変更になる可能性があります

1 国内プログラム | 事前のオンラインレクチャー

Zoomを使用して合計 6 時間程度の講義とワークショップを提供する。講義ではシリコンバレーの歴史や文化、米国企業のオペレーションの特徴などについて学ぶ

定員 20名程度*

日程 7月29日(月)～8月19日(月)のうち2日間（計6時間程度）を予定

概要

- インTRODakション、プログラムの設計に関する説明
- 講義
 - シリコンバレーの歴史、日本とシリコンバレーの文化の違い
 - 米国企業のオペレーションの違い
- 座談会
 - プログラム参加企業の創業者による意見交換

※ 使用言語：英語

※ 国内プログラムへの参加姿勢等を踏まえて、渡航プログラムへの参加可否を判断させていただく場合があります

2 渡航プログラム | 講義、演習、ピッチ、デザイン思考ワークショップ

ピッチ、デザイン思考ワークショップ等の講義・演習、グループ学習、グループメンタリング、1対1のメンタリングまで様々な形式のプログラムを提供する。渡航プログラム中はスタンフォードのゲストハウスに宿泊予定

定員 20名程度

日程 8月26日(月)～9月13日(金) ※8月25日 日本発、9月15日 日本到着予定

概要

- US Market Access Center (USMAC)による講義やグループワーク
ーシリコンバレー流のマインドセットや米国や日本のマーケットの違いを理解促進、ビジネスモデルやピッチのブラッシュアップを支援します
- スタンフォード大学d.schoolによるデザイン思考ワークショップ
- シリコンバレーのエコシステムのキーパーソンとのネットワーキング

3 フォローアップ | メンタリング

渡航プログラム参加後の各参加者の進捗状況に応じて、メンターによるフォローアップを実施

定員 20名程度

日程 渡航後、2024年秋頃を予定

概要

- ・ プログラム参加後の成果フォローアップ、メンタリングを実施する予定（調整中）



US Market Access Center (USMAC)

URL : <https://usmarketaccess.com/>

支援機関情報

シリコンバレーを拠点とするアクセラレーターであり、外国企業のシリコンバレー進出、世界市場でのスケールアップを専門に手掛ける。

これまで約2,300のスタートアップがUSMACのプログラムに参加し、その卒業生350名で総額50億ドルもの資金調達を達成している。

150人以上のメンターを抱え、渡航前からリモートメンタリングを行い、企業訪問アレンジを行うのが特徴。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Chris Burry
USMAC | Co-CEO
メインインストラクター



Alfredo Coppola
USMAC | Co-CEO
メンター・コーチ

USMACの共同設立者であり、UC Berkeley SCET*でも活動を行っている。

これまで9社の設立に関与、3社をエグジット (最大12億ドル規模)させたシリアルアントレプレナーであり、USMACなどを通じて過去10年間、40カ国以上の2,500人以上のスタートアップ創業者の支援を行ってきた。

USMACを設立する前は、アクセンチュアとマイクロソフトの合併会社であるAvanadeの設立にも携わった。現在、AvanadeはAccentureの完全子会社となっており、従業員数は4万人、年間売上高は40億ドルを超えている。

現在世界中のアントレプレナーシップに関する会議やイベントで講演を実施している。

ITセクターで25年以上の事業開発と経営コンサルティングの経験を持ち、各国の技術エコシステム強化を支援してきた。600社以上のアーリーステージのテクノロジー企業にアドバイスを行い、

Adobe、Microsoft、Nortel Networks、Deloitte、PwCなどの大手多国籍企業と連携してきた。2011年以来、シリコンバレーから1,600以上のスタートアップをグローバル市場へ参入させるための支援に関与し、数多くの契約やPoC、資金調達を成功させてきた。

また、サンフランシスコ・バイエリアを拠点とするエンジェル投資家組織Marin-Sonoma Impact Venturesの創設役員であり、世界中の女性が率いる企業の成長を支援するプログラムProspera Womenの共同創設者でもある。

* UC Berkeley SCET: UC Berkeley Sutardja Center for Entrepreneurship and Technology



Hasso Plattner Institute of Design at Stanford (d.school)

URL : <https://dschool.stanford.edu/>

支援機関情報

顧客起点の問題解決プロセスをデザインする「デザイン思考」のカリキュラムを提供している。バンガロールを拠点とする非営利団体のNoora Healthをはじめ、多くの卒業生がd.schoolのツールやリソースを活用して新しい事業を立ち上げている。



US-Asia Technology Management Center

URL : <https://asia.stanford.edu/>

支援機関情報

1992年に設立されたスタンフォードにある教育研究センターで、これまで急速に進化するアジアのイノベーションやテクノロジーに関する最新の知識と分析能力を学生に提供してきた。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Ken Singer
インストラクター

シリアルアントレプレナーであり、数多くのスタートアップへ投資およびアドバイザー活動を行っている。2012年よりUC Berkeley SCETのマネージングディレクター、2019年より同センターのChief Learning Officerを務めており、グローバルなテクノロジー起業家を育成するためのアプローチであるBerkeley Method of Entrepreneurshipの共同開発者でもある。

現在は政府や大学と協力してアントレプレナーシップ教育の促進、企業の製品とイノベーションのマネジメントに関するコンサルティング活動を行っている。

エンタープライズソフトウェア、EdTech、サイバーセキュリティ、モバイルテクノロジー、デジタルトランスフォーメーションなどを専門とする。



Anja Svetina
d.School
インストラクター

d.Schoolに勤務し、組織における創造的文化やデザイン思考の組織心理学などのエグゼクティブ教育プログラムや大学院での講義を担当している。

過去12年間はスタンフォード大学で経営陣やシニアリーダーにイノベーションプロセスを教え、創造的なマインドセットを育てるための教育プログラムを開発してきた。このプログラムは消費者に焦点を当てた組織変革の推進を目的としている。

また、デザイン思考を科学的・学術的研究に応用するためのカリキュラムを開発したResearch as Design team at Stanford Universityの創設メンバーでもある。

03 SCHEDULE | スケジュール



※ 書類審査通過者には**7月16日(火)・7月17日(水)**で面談審査を行いますので、審査結果に関わらず、あらかじめご予約をしておいてください。日程調整の方法については書類審査通過者に別途ご連絡いたします。

定員

- ・ 国内プログラム：20名程度
- ・ 渡航プログラム：20名程度

対象

対象者	応募時点で原則18歳以上の学生
ステージ	起業前
分野	想定している事業内容がIT分野に関連していること
その他	プロトタイプまたはベータ版を有する

応募要件

プログラム参加者*は以下の全ての条件を満たすこと

1. 起業前の学生であること
2. 面談審査日を含む本プログラム全日程に参加可能であること
3. 英語での講義の受講、ピッチイベント参加が可能な語学力を有していること
4. オンラインで参加するための設備、環境を準備できること
5. 参加後のアンケート等に協力いただけること*

*本プログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

参加者による費用負担

- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- プログラム受講料
- （対面開催の場合のみ）国内プログラム及びフォローアップ時の国内交通費・宿泊費
- 海外航空券
- 海外滞在時の宿泊費

（成田/羽田空港までの航空券または新幹線が必要な地域にお住まいの方はJETROが費用負担、手配いたします。現住所を確認し別途ご連絡いたします。）

※上述は全てJETROにて手配し支給いたします。参加者に上記費用をお支払いする主旨ではありません。



選考基準

- 招聘するメンターならびにJETROがサポート可能であること
- プログラム参加への志望理由が明確で熱量があること
- 将来的に起業することに対し関心があること
- プログラムを通して成長が見込まれる人材であること
- プロトタイプが明確な課題認識に基づいており、技術面・事業面において優位性があること
- 英語での講義を受講するのに必要な英語力を有していること
- 原則、今年度の他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと

※本コースよりも上級者向け(レベルが高い、ミドルステージ向け等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。

重複の可否はジェットロにて判断いたします。

応募フォーム

2024年7月9日(火) 12:00 (JST) 締切

-
- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
 - 必要に応じ、JETROによる個別面談を行う可能性があります
 - 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
 - 別途、1~2ページ程度の**スライド資料**をご提出いただきます。（形式・方法等は次ページ以降参照）
 - 誓約書とパスポートの写真が掲載されたページのコピーを提出いただきますのでお手元にご用意ください。詳細は応募フォームに記載されております。

スライド資料作成・提出にあたっての留意点

以下の留意点を守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください。

■ スライド資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形で作成ください。
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください。（ファイルサイズは3MB以下）
- ファイル名は「**スタンフォード流イノベーターコース_名前.pdf**」としてください。※名前の部分にはご自身の名前をご記載ください。
- 表紙は不要、最大2ページでご作成ください。
- 作成したスライドは下記のアドレス宛に、**2024年7月9日(火) 12:00 (JST) 迄**にご提出ください。
- メールの件名は「**スタンフォード流イノベーターコース_スライド資料提出_名前**」とし、本文にもご自身の名前をご記載ください。

■ スライド資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください。

1. 解決したい課題の内容
2. プロトタイプの概要（写真や図、文章を用いて）
3. 事業の拡大戦略
4. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は**日本語**でご作成ください。

★提出先アドレス：**j-starx@tohmatu.co.jp**（担当：古閑）

※本プログラムは、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社に運営を委託しています

※上記に則った内容であれば、スライドのデザイン・フォーマットは問いません。

1. 本事業及び事務局では、本募集要項P.13の「主催者による費用負担」に記載した項目のみ負担しますが、それ以外のすべての費用は一切支給しません。
2. プログラムの参加者に発生した損害などについて、一切の補償を致しかねますのでご了承ください。
3. 必要に応じて現地での交渉先との面談などにもメンター・他JETRO職員が同行をさせていただき、帰国後も成果把握、進捗確認などにご協力をいただきます。
4. 本プログラムに選考通過後はJETRO事業の紹介、成果報告のため外部公開をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。（内容は事前に確認をさせていただきます。）
5. 原則としてJ-StarX事業は同一年度内で一つのみが参加可能となっております。ご注意ください。

※本コースよりも上級者向け(レベルが高い、ミドルステージ向け等)のJ-StarXプログラムへの申し込みは可能です。

重複の可否はJETROにて判断いたします。

免責事項

上記詳細及びその他については、[免責事項](#)をよくお読みの上応募をお願いいたします

※学生向けプログラムにおいては1. (3)に記載の内容について、国内研修やフォローアップがオフライン開催となった場合に会場または会場近辺までの交通費・宿泊費を提供いたします。

キャンセル規定

如何なる理由においても、航空券及び宿泊手配後の変更・キャンセルは認められません。キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます。

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 スタンフォード流イノベーターコース（IT・学生）コース

会社名 JETRO イノベーション部 スタートアップ課

担当者 鵜飼・鈴木

メール j-starx@jetro.go.jp

